

令和6年第1回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 3月6日（7日・11日）

| No. | 質問者 | 質問項目（答弁者） |
|-----|---------------------------|---|
| 1 | 松尾 和樹 （白い会派） | <p><u>1. 可児市で育った若者との繋がりづくりは積極的に行われているか（市民文化部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>少子高齢化が進行している本市において、本市で育った若者との繋がりを構築することは本市を存続するために必要不可欠である。成人式をひとつの好機と捉えて、新たな可能性を生み出すことができるのではないかと。</p> <p>質問1 令和6年可児市成人式に対して本市が工夫した点はなにか。</p> <p>質問2 成人式の配布物は紙媒体、データ含めてどのようなものがあるか。</p> <p>質問3 成人式の参加申込みを本市公式SNS経由やアプリで受け付けてはどうか。</p> <p>質問4 可児市で育った若者との繋がりづくりは積極的に行われているか。</p> |
| 2 | 田上 元一 | <p><u>1. 地域コミュニティの現状と今後について（市民文化部長）</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>コロナ禍は社会経済活動のみならず私たちの日常生活にも大きな行動変容をもたらしました。とりわけ大きな制約を受けた地域コミュニティの現状と今後についての見解を伺います。</p> <p>質問1 自治会に対する市の認識と自治会と行政の関係についてどう考えているか。</p> <p>質問2 自治連合会加入の自治会が市の役職等を担わざるを得ない現状についてどう考えているか。</p> <p>質問3 地区センター地域拠点化の取り組みに対する評価は。</p> <p>質問4 地域コミュニティ活性化に対する市としての関わりは。</p> |
| 3 | 富田 牧子 （日本共産党 可児市議団） | <p><u>1. 第4次男女共同参画プランをどうすすめるか（教育長、市民文化部長）</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>第4次可児市男女共同参画プランができた。計画策定の趣旨にあるように「男女平等や多様性を認めあう社会の実現に向けての動きを加速させ、取り組んでいく」か問う。</p> <p>質問1 第4次男女共同参画プラン策定にあたって、特に力を注いだ点はどんな分野か。</p> <p>質問2 本市で行われている「生命（いのち）の安全教育」で新たに取り入れられた分野はあるか。</p> <p>質問3 本市としてパートナーシップ制度を制定するのはいつか。</p> |

| No. | 質問者 | 質問項目（答弁者） |
|-----|-----------------|--|
| | | <p><u>2. 補聴器購入費用の助成を（福祉部長）</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>2017年に開かれたアルツハイマー国際会議では「難聴を放置することが、認知症の最大のリスク」と報告されている。加齢性難聴者が補聴器購入する場合の助成が望まれる。</p> <p>質問1 補聴器購入費用への助成をしてほしい。</p> |
| 4 | 渡辺 仁美 (可児未来) | <p><u>1. 公園の持つ防災機能の充実強化と今後の展開は（総務部長）</u></p> <p><u>一問一答方式</u></p> <p>広域避難場所に指定されている公園から居住地近隣にある公園まで、可児市には多数の公園がある。「災害に強い人と地域をつくる」ために、公園の持つ防災機能の充実や、今後の展開について尋ねる。</p> <p>質問1 広域避難場所の持つ防災機能の現状について。</p> <p>質問2 広域避難場所のさらなる防災機能の充実は。</p> <p>質問3 都市公園の防災の役割は。</p> |
| 5 | 川上 文浩 (可児未来) | <p><u>1. 可児市の防災について（総務部長）</u></p> <p><u>一問一答方式</u></p> <p>平成28年に発災した熊本地震を再検証したうえで、災害に対する自治体の受援力と市内各地や市民の受援力について、行政の準備と考え方を問うとともに、能登半島地震における行政の課題や問題点について問う。</p> <p>質問1 能登半島地震に係る職員派遣について、その場所と職種、派遣人数。</p> <p>質問2 被災地派遣で得た情報の共有方法は。</p> <p>質問3 過去の地震災害から得られた課題への対処方法は。</p> <p>質問4 受援体制整備に向けた取り組みは。</p> <p>質問5 地域主体の避難所の運営について。</p> <p>質問6 避難所における多様性への配慮。</p> <p>質問7 災害弱者等への対応。</p> <p>質問8 災害時でも支えあう地域づくりの構築をどう進めるか。</p> |

| No. | 質問者 | 質問項目 (答弁者) |
|-----|---------------------------|--|
| 6 | 天羽 良明 (可児未来) | <p><u>1. 河川管理用通路の現状と未来 (市民文化部長、建設部長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>河川管理用通路は、河川管理の目的以外に防災、環境、道路機能を兼ね備えた道路として利用されている。この命を守るための通路を未来へとつなげるため本市は、地域住民と今後どう連携していくか。</p> <p>質問1 集中豪雨、巨大地震を想定した河川工作物点検等の危機管理体制は万全か。</p> <p>質問2 災害に強いインフラについて、巨大地震に耐えうる太田橋をどう維持していくか。</p> <p>質問3 子ども達に対する河川環境教育の重要性をどう考えるか。</p> <p>質問4 持続可能な河川管理用通路の維持管理をどのようにする考えか。</p> |
| 7 | 伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団) | <p><u>1. 能登半島地震から本市防災計画にどう活かすか (市政企画部長、総務部長、福祉部長、水道部長)</u></p> <p><u>一問一答方式</u></p> <p>過去の巨大地震から防災計画を見直し拡充をしてきたが、能登半島地震の被害の甚大さと支援対策の遅れ・困難さは深刻だ。どの様に教訓を引き出し、本市地域防災計画に活かすための検討を行うのかを問う。</p> <p>質問1 本市地域防災計画の改善・強化点をどうみるか。</p> <p>質問2 上下水道インフラの確保は。</p> <p>質問3 避難所としての医療・介護施設との連携は。</p> <p>質問4 家庭でのエネルギー確保の普及・促進は。</p> <p>質問5 各小学校区単位エリアで、地域の自主的な防災組織、防災士の増員と組織化を。</p> <p>質問6 大災害に備え、地元に住居する可児市元職員を臨時職員として特定雇用するなどして、地域防災ネットワークを補強する考えはないか。</p> |

| No. | 質問者 | 質問項目 (答 弁 者) |
|-----|------------------|--|
| 8 | 高木 将延 (会派きずな) | <p><u>1. ゼロカーボンシティに向けた取り組みについて (総務部長、市民文化部長、建設部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>地球温暖化は深刻さを増し、地球沸騰化と言われる時代に突入。気温の高い状況がニューノーマルとされる中、ゼロカーボンシティに向けた取組など本市の温暖化対策は十分なのか、対策の進捗と今後の検証体制を問う。</p> <p>質問1 本市の将来ビジョンの共有について。 質問2 再生可能エネルギーの導入調査について。 質問3 新たな移動手段の確保、技術導入について。 質問4 道路の緑化について。 質問5 プラスチック資源循環体制の強化について。 質問6 地域新電力会社の設立について。 質問7 次世代自動車の導入について。 質問8 企業と連携協定を締結した事業について。 質問9 産業部門に対する具体的な対策について。 質問10 カーボンニュートラル推進のための本市の体制について。 質問11 施策の効果検証について。 質問12 「世界首長誓約/日本」の誓約について。</p> |
| 9 | 前川 一平 (会派きずな) | <p><u>1. 本市の子育て施策について (教育長、こども健康部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>少子化問題に歯止めをかけるための異次元の少子化対策。その施策の中で『こども誰でも通園制度』などが国により進められるが、本市の現在の保育士の処遇や家庭教育への支援状況で対策できるのか。</p> <p>質問1 保育士の職場環境についての現状把握は行われているのか。 質問2 『こども誰でも通園制度』が始まった場合に起こりうる問題はないか。 質問3 保育士の職場環境整備や処遇改善について今後市として準備していることはあるか。 質問4 親に向けた家庭教育支援について現状どの様なことが行われているのか。 質問5 家庭を持つということについての小中学生への教育支援は何か行われているのか。 質問6 家庭教育に関する施策について市民への周知方法はどの様に行われているのか。</p> |

| No. | 質問者 | 質問項目 (答弁者) |
|-----|-------------------------|---|
| 10 | 野呂 和久 (可児市議会 公明党) | <p><u>1. 災害時の対応について (総務部長、福祉部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>国は、自治体等の災害対応の基礎となる防災基本計画を昨年5月に修正し、初めて災害ケースマネジメントの整備促進を明記した。東日本大震災等の災害で取り組まれてきた被災者支援の手法である。本市の考えを問う。</p> <p>質問1 災害ケースマネジメントに対する本市の考えは、又これまでの取り組みは。</p> <p>質問2 可児市地域防災計画に位置づける考えは。</p> <p>質問3 審議会等の設置を条例に定めることについて。</p> |
| 11 | 酒向 さやか (会派きずな) | <p><u>1. 本市小中学校における働き方改革への取組について (教育長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>教育現場において、教員の長時間労働、教員不足が全国的な課題となっている。本市における教員不足や長時間労働についての現状と取組は。</p> <p>質問1 本市小中学校の教員数は確保できているか。</p> <p>質問2 市内小中学校における教員の勤務時間の現状について。</p> <p>質問3 西可児中学校で導入されている「学年チーム担任制」。導入の狙いは。</p> <p>質問4 「学年チーム担任制」を導入したことによる勤務時間の変化は。</p> <p>質問5 「学年チーム担任制」について、生徒や保護者、教員の反応は。</p> |
| 12 | 板津 博之 (会派きずな) | <p><u>1. 消防団員の確保と処遇改善の取り組みは (総務部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>近年、少子化による若年層の減少や就業構造の変化により消防団員の確保は難しくなっている。本市での消防団員確保の現状と処遇改善の取り組みについて改めて問う。</p> <p>質問1 消防団員数の推移はどうなっているか。</p> <p>質問2 「可児市消防団協力事業所表示制度」の取組状況と効果は。</p> <p>質問3 「可児市学生消防団活動認証制度」の取組状況と成果は。</p> <p>質問4 「準中型自動車運転免許取得費等補助金交付制度」の実績は。</p> <p>質問5 新たな機能別消防団を組織する考えはあるか。</p> <p>質問6 入団促進広報の現状と今後の展開は。</p> <p>質問7 消防団の統廃合に対する考えは。</p> |

| No. | 質問者 | 質問項目 (答弁者) |
|-----|------------------|---|
| 13 | 川合 敏己 (会派きずな) | <p>1. 大震災における自宅避難時のトイレについて (総務部長、水道部長)</p> <p>一問一答方式</p> <p>南海トラフ地震発災時に本市で予想される震度6弱の地震が起こった場合、本市の上下水道はどのような状態が予想されるのか。公共下水に接続したトイレ使用の可否などについて質問する。</p> <p>質問1 上下水道管路の耐震化状況と、震度6弱の地震による影響は。</p> <p>質問2 地震発生時の配水施設の遮断弁の機能と解除のタイミングは。</p> <p>質問3 破損しているかどうか分からない下水に汚水を流すことは問題ないか。</p> <p>質問4 在宅避難を選択した場合に用意すべき災害用のトイレは。</p> |

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。